

<##html:content\_type##>

メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.354 2021.9.10

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」  
8月29日(日曜日)放送「主要会派代表者に聞く2」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様式や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、8月29日(日曜日)に放送した「主要会派代表者に聞く2」の内容をお伝えします。

こんにちは  
県議会です  
主要会派代表者に聞く②

☆放送スケジュールなど詳しくは、[県議会のホームページをご覧ください。》](#)

INDEX



県議会広報

テレビ番組「こんにちは県議会です」  
「主要会派代表者に聞く2」

- ・埼玉民主フォーラム 田並 尚明代表
- ・埼玉県議会公明党議員団 西山 淳次団長



議事堂の花

生け花のご紹介



県議会広報

【こんにちは県議会です「主要会派代表者に聞く2」】

〈埼玉民主フォーラム 田並 尚明代表〉

北第5区 熊谷市選出  
平成19年、埼玉県議会議員初当選(現在4期目)  
令和元年5月、埼玉民主フォーラム代表に就任

**代表** 県民の皆さま、こんにちは。埼玉民主フォーラム代表の田並尚明でございます。県民の皆さま、また、事業者の皆さまには、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご理解、ご協力を頂いておりますことに、衷心より感謝申し上げます。



—ごあいさつの中にもありましたが、新型コロナウイルス感染症の収束がなかなか見えませんね。—

**代表** われわれもまさかこれほどまで続くとは想像しておりませんでした。今年度に入り、まん延防止等重点措置の適用が続き、さらには緊急事態宣言が発令されました。飲食店などの事業者に対する経済支援策の支給などにかかる補正予算について、数回にわたって議会で審議が行われました。

その中で、われわれだけでなく、各会派も要望していたと思いますが、飲食店だけでなく、酒類販売事業者などの事業者の皆さまにも協力金の対象範囲が広がったことは、もしかかもしれません、県民の皆さまの声を届けることができたと感じております。

—コロナ禍で影響を受けている事業者の方々への支援はとても重要ですよね。—

**代表** まん延防止等重点措置が適用されていたときも、事業者の皆さまからは、もう要望ではなく悲鳴に近い声が聞こえてまいりました。ですから、『彩の国「新しい生活様式」安心宣言飲食店+(プラス)』のステッカーを貼っているお店は少し条件を緩和してはどうか、などの議論がありました。この件については執行部から、感染者数の推移を見ながら緩和できるようなら緩和していきたいとの考えが示されました。

—ワクチン接種も順次進められていますね。—

**代表** 県民の皆さまにとって非常に重要なことだと思います。予約に関しては、地域の医師会の先生方と市町村で接種スケジュールを組んでいただき、大変感謝をしているところでございます。予約開始の時期は多少混乱が生じた地域があったようですが、最近はずスムーズに回っているのではないかと思います。地域によって差が出ないよう、今後も市町村と協力して接種体制を整えるよう、県に要望しているところでございます。



また、県の集団接種会場も、浦和合同庁舎に加え、越谷、川越、熊谷にも設置され、さらにワクチン接種がスムーズに行えるのではないかと期待しているところです。

—新型コロナウイルス感染症対策に関して、どのような点が課題だとお考えですか。—

**代表** 例えば飲食店などへの感染防止対策協力金は、その協力金の8割部分を原則国が出してくれますが、残りの2割部分の財源措置は直前にならないとわからないようですので、県がしっかりと予算措置ができるよう、国には余裕をもって明らかにしていただきたいですし、基本的対処方針についても、ぎりぎりまで県に降りてこないことが多いので、国も刻々と変化する中で大変だとは思いますが、早めの決断をお願いしたいですね。結局、

そのしわ寄せはそのまま県民の皆さまにいてしまいますから。また、ワクチン接種についても、自治体でやっとスケジュールが組めたと思ったら、国から急な変更が指示されたり、ワクチン供給量が確保されないなど、自治体でスケジュールの目途を立てられない状況もあります。そういうところは課題だと思えますね。

—先の6月定例会では、コロナ対策のほかにもどのような提言をされたのですか。—

**代表** 一般質問で山根史子議員は、多胎児世帯に対する子育ての支援と環境整備についてなど、町田皇介議員は県有施設を利用したクワイエットアワーの導入についてなどを質問し、執行部からはしっかりと進めていく旨の答弁をいただきました。県民の皆さまから頂いた疑問や要望をしっかりと県に届けることができましたと思います。

—ほかに会派として取り組まれていることはありますか。—

**代表** ワクチン接種体制や事業者支援に対して、さらなる制度の充実や、今年6月に千葉県八街市で下校中の小学生が被害に遭った痛ましい事故を受けて、県内の通学路の安全点検を早急に行うよう知事に要望書を提出いたしました。通学路の安全点検に関しては、計画を前倒して行うとの返事を頂いたところです。

また、7月に熱海で起きた土砂災害のように、最近の気候変動を見ると、災害をもたらすような豪雨がいつどこで起こるかわかりません。埼玉県においては、早々に県内の状況を調べ、土石流を発生させるような危険な盛り土は確認されていないとのことですが、今後も厳しくチェックしていく必要があると思います。

—最後に、今後の抱負をお聞かせください。—

**代表** まずは新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行っていく。その中で県民の皆さまの声、事業者の皆さまの声を反映させた実効性のあるものにしていくこと。さらに、県だけではコントロールできない部分もありますが、県民の皆さまが一日でも早くワクチン接種が終了できるよう、体制整備を進めていきたいと思っています。このほかにも教育、経済対策など県民生活に関わる重要な案件もありますので、議会においてしっかりと議論していきたいと思っています。



[▲トップへ](#)

### 〈埼玉県議会公明党議員団 西山 淳次団長〉

西第1区 所沢市選出  
平成11年、埼玉県議会議員初当選(現在6期目)  
平成23年、埼玉県議会公明党議員団団長に就任

**団長** 県民の皆さま、こんにちは。埼玉県議会公明党議員団、団長の西山淳次です。日頃からわが党に対しまして、大きなご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。公明党議員団は県民の皆さまに直結して、良識の党として県政に貢献していきたい



と思います。どうぞよろしくお願いいたします。

—公明党は新型コロナウイルス感染症にどのように取り組んでこられたのでしょうか。—

**団長** コロナへの対応が始まってすでに1年半が経過しましたが、残念ながら、まだ収束と言える状況ではありません。ある意味では非常事態が日常化するという特異な状況です。この間、公明党は大野知事はじめ県執行部の懸命な取り組みを基本的に支持し、応援をしてきました。その上で、現場の切実な声を踏まえ、各種対策の改善や新たな対策を提言し、県の集団接種会場の増設や自宅療養者への医療提供体制の充実などを後押ししてきました。また、私どもで手づくりしているユーチューブ動画「埼玉県議会公明党オンラインニュース」で最新のコロナ対策情報の発信も続けてまいりました。

—コロナの今後はどうなるとお考えですか。—

**団長** 現在、収束の切り札となるワクチン接種に国・地方ともに全力を挙げています。11月までに希望する全国民に接種したいと政府は言っています。当然、県・市も全力を尽くします。その結果、ある程度の集団免疫が獲得できれば新規の感染者数が抑えられ、医療のひっ迫を避けることができる。そうなれば経済社会活動の制限を解除していけるのではと思っています。私も居酒屋さんで心置きなく飲食できる日が待ち遠しいです。

—飲食店などは今、大変な状況になっていますよね。—

**団長** 今は各種協力金などを使って何とか持ちこたえていただきたい。そして、今後は、特にご苦勞をかけている、観光、宿泊、飲食、イベントなどの事業者をしっかりと支えて、回復できる手立てが重要だと考えています。

—団長は先の2月定例会の代表質問などでもポストコロナについて発言されていますね。—

**団長** 今は、感染を抑えつつ、ワクチン接種を進めることが最優先です。やがて、有効な治療薬も開発されるでしょう。そこで、この先、コロナ収束後の社会をどう展望していくかは大変重要なテーマだと考えています。コロナの収束後、まったく元の通りに戻ればそれで良いのか。私は違うのではないのかと思います。



—と、言いますと。—

**団長** コロナに限らず、本来は自然界にとどまっていたウイルスが過度な開発によって頻繁に人間界に出てきていると言われます。そのウイルスが効率と成長をひたすら追い求めてきた現代社会を追い詰めて、その脆弱(ぜいじゃく)さを浮き彫りにしました。私はコロナウイルスの出現は人類の「おごり」に対する警告のように思えてならないのです。その反省なしにポストコロナの世界が進むとしたら、あまりにも傲慢(ごうまん)です。今こそ立ち止まって、社会の在り方、将来の世界について考え直すときではないでしょうか。

—では、どのようにすべきとお考えですか。—

**団長** まずは、人間は自然の一員であり、自然に生かされているという原点に立ち戻ることです。これ以上、自然を壊しては人類の存続そのものが危ぶまれます。その謙虚な姿勢から再出発すれば、おのずと方向性は見えてきます。まずは、コロナが強いてきた「分断」のひずみを癒して、「共

生」「協調」へと転換することが必要です。県政の課題で具体的に言いますと、地域包括ケアや農福連携などの福祉政策、温暖化防止やプラスチック削減などの環境政策、高齢社会に対応した公共交通政策などに一層光を当てていきたいと思っております。当然、経済政策も循環型、地域重視といった視点から見直されるべきだと思います。また、温暖化の影響で激甚化する自然災害への備えが一層重要です。ハード、ソフト両面にわたる防災減災対策に引き続き取り組んでまいります。

—いい方向に社会が変わるチャンスでもある、ということですね。—

**団長** ぜひ、そうしていきたいと思っております。身近な例で言いますと、レジ袋の有料化は、プラごみ削減量はそれほど大きくないのですが、それ以上に人々の意識を大きく変えるきっかけになりました。コロナ禍を通して、私たち一人ひとりが、何が大切かを思い直して、少しでもできることを実行していく。その積み重ねがやがて社会を変えていくと私は確信しています。県政を通じて、そうした発信を続けていきたい。それが公明党の役割だと考えています。



[▲トップへ](#)

## 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。  
【協力 埼玉県いけばな連合会】



- ◆展示期間  
8月10日～8月13日
- ◆作者  
春草流 白澤 春草様
- ◆花材  
ほおずき、葉蘭

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇

〈春草流 白澤 春草様〉

Q: 生け花のイメージやテーマはありますか。

A: この生け花を見て、少しでも涼しさを感じてほしいと思い創作しました。ほおずきを花材として使い、季節感を表現しました。

Q: 作品作りで心掛けていることは何ですか。

A: 見る人の気持ちや和むことを常に心掛けています。また、今回の作品のように季節感を出すことも大切にしています。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

**【注意】**

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

**【お問い合わせ】**

●「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail [a6250-03@pref.saitama.lg.jp](mailto:a6250-03@pref.saitama.lg.jp)

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

